

市民との共同で着実に市政が動く

教室へのエアコン設置

市長や議会へ請願・陳情・署名活動をつづけ「暑さから子どもを守れ」の声を広げてきました



議長あての「エアコン設置」署名を提出する市民団体と党市議団

国保

支払困難な家庭にも正規保険証発行を求め18歳まで無条件に保険証を発行させました

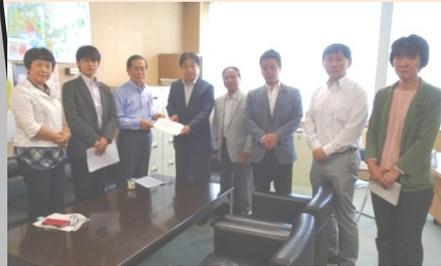
子育て支援

子どもの医療費助成を中学卒業まで拡充しました
就学援助制度の拡充求め、入学準備金3月支給に改善
子どもルームの改善へ、ルーム増設や指導員の待遇を改善

くらし応援

実績

共産党市議団の役割クッキリ



市長宛て「学校のブロック塀の点検」を求め緊急の申し入れを行う党市議団

市民サービス削減、市民負担増を告発

財政難を理由に敬老祝金・介護用おむつ給付や障害者福祉手当まで削減、国保料はじめ各種手数料・使用料値上げに対して「財政の使い方を見直し、中止を」と求めているのは、共産党市議団だけです。

財政の組み替え動議を提出

党市議団は、予算の「組み替え案」を提出し、不要・不急の事業を減らして、くらし・福祉優先にと、市民要望の実現へ市長と論戦しています。

通算 90本超える

くらし・福祉改善へ条例案を提出

着実に提案内容が活かされ改善すすむ 市民要望実現へ議員の権利を最大限活用

日本共産党市議団は、オール与党の議会の中で、市民から託された発議権を活用して、くらし・福祉施策の改善めざし積極的に条例案を提出。市当局に必要性を訴え、その実行を求めています。道理ある要望は、障害者施策や国民健康保険・奨学金制度の改善などで活かされ、改善がすすんでいます。



市民の意見・要望を聞きながら懇談する党市議団

行・財政を厳しくチェックし 市民生活優先で実現めざします

至急、全教室・体育館にエアコンの設置



「災害級」と言われる猛暑から、子どもを守るため、エアコン設置は最優先課題で取り組みます。

保育所・子どもルームの増設



安心して子どもを預けられるよう、施設整備と保育士・指導員の待遇改善をはかります。

高齢者の外出支援 敬老祝金の復活を



高齢者の健康維持や生きがいを応援するためには、交通の確保や運賃助成などが必要です。また、敬老祝金を復活させます。



国保・介護保険の負担軽減

年々上がる保険料・利用料。支払い可能な料金へ引き下げるなど、負担軽減と制度の改善をすすめ、介護士の処遇改善をはかります。

給付型奨学金制度の創設

卒業と同時に多額の借金をかかえる奨学金。返済不要の奨学金制度を市独自に作ります。



こうすれば
財源は
つくれます

今、本当に必要な事業なのか…市民参加で検証し

大型公共事業を大幅に見直します

新庁舎建設計画 307億円

当面は耐震補強で。建設は財政状況から計画的に。

新競輪場整備 35億円

一度廃止を決めた競輪場。復活の必要性があるか。

神社前参道整備 30億円

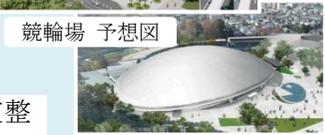
神社のための参道整備が市の事業なのか。

稲毛海浜公園整備 24億8千万円

8億円の高価な白砂を輸入するなどは無駄遣い。



新庁舎 予想図



競輪場 予想図



稲毛海浜公園 予想図